

姉妹校メイビル中訪問



ミシガン湖畔にて



平成3年度から姉妹校として交流を続けている、アメリカ合衆国のメイビル中学校を、中学生5人(写真右から鈴木絵理さん、関川香里さん、石井晶さん、久保田峻輔君、土屋裕明君)と高岡宏章教諭が訪問しました。

この事業は、中学校教育振興の一環として町が行っているもので、今回で5回目となりました。

2年 鈴木 絵理

私は、11月8日から14日までの1週間、アメリカのウイスコンシン州にあるメイビルミドルスクールという学校へ行ってきました。初めての海外体験だったので英語がきちんと聞き取れるか、伝えられるか心配でした。しかし、行ってみるとみんな親切で、とても優しく接してくれました。

学校の生徒もみんな歓迎してくれて、日本の遊びや料理などを教えてあげた時なども、興味しんしんという感じで真剣に聞いていました。また、日本の歌の「さくらさくら」や「はとぽっぽ」などを日本語で歌ってくれてとても感激しました。

ホームステイは、私にとって一番心配していたことの一つでした。何を話したらいいか、とつさにきちんとした英語が出てくるか、ホストファミリーに会う当日も、たいへん緊張していました。でも会ってからはほとんど話はずみ、趣味や好きな食べ物について楽しく話すことができました。

2年 土屋 裕明

また、全員のホストファミリーの方が歓迎パーティーを開いてくれてとてもうれしかったです。ステイをしている時も、大きなデパートやレストランにつれていって、アメリカの広大さにびっくりしました。

学校内でも、驚いた事がありました。それは、広い事、カフェテリアがある事、掃除をしない事、おかしを食べながら勉強したり話をしたりしている事です。アメリカだからできる事だなと思いました。

アメリカ最後の日は、お別れパーティーなど開いてくれてたいへんうれしかったです。セサミストリートやホストファミリーのお母さんが料理を作ってくれたり楽しい事がたくさんありました。たいへん歓迎してくれましたので、別れる時はたいへん悲しくみんな泣いてしまいました。長いようで短い1週間にとってもいい経験ができたと思います。

最後に私に親切にしてくれたアメリカのみなさんに「ありがとう」と言いたいです。

んでした。

僕は11月8日から14日にかけて、姉妹校のメイビルミドルスクール訪問団の一員として、アメリカに行ってきました。

僕達一行は、成田からシカゴそしてミルウォーキーへと飛行機で行きました。機内から見たシカゴの夜景は、とてもすばらしかったです。アメリカの11月の気候は、日本の2月と同じくらいなのでとても寒かったです。道路はとても広く、ある物みんな日本より大きかったです。

メイビルはミルウォーキーにある田舎町で、町の中心部からちょっと離れると広大な土地に牧場などがあって、とてものびのびした感じのする所でした。

学校では、生徒のみんなや先生達がとても明るく出迎えてくれたので安心し、緊張が和らぎました。学校は1階建てで校内はとても広く、ドアが多くそれぞれの教室がいろいろな所でつながるようになっていました。日本の学校と違い放課後の掃除、部活もありませ

さて、学校の説明はここまでで、次はホストファミリーの紹介です。僕のホームステイ先はスコットという男の子の家でした。家は町の中心から少し離れた所にあつて、周りに余計な建物がないので景色は最高でした。庭に池があつてたくさんのお花が咲いていました。

また学校の話しに戻ります。学校では、剣道、人形作り、料理、授業の見学などをしました。給食もけっこうおいしかったです。毎日とても疲れたけれど、その分いろいろ楽しいことがありました。

ホームステイ最後の日は、学校が終わった後、みんなのホストファミリーと一緒にボウリングに行きました。夜は学校でさよならパーティーを開いてくれ、生徒の演奏を聞きながらホストファミリーと楽しく食事をしました。

この滞在で、数えきれないほどたくさんのお話を学びました。まだ書きたらないことがたくさんあります。僕はこの思い出を一生忘れないと思います。